



看護 とちぎ



かんごちゃんと「看護の日」記念行事送迎バス

CONTENTS

- 2 2023年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会
令和5年度 新役員紹介
- 3 第33回「看護の日」記念行事
第37回栃木県看護大会知事表彰受賞者
- 4・5 第37回栃木県看護大会大会長表彰受賞者
- 6 第37回栃木県看護大会感謝状受賞者
- 7・8 令和5年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿
- 9・10 特集 今年の各委員会事業計画
- 11 優良看護職員厚生労働大臣表彰/いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会感謝状
令和5年度栃木県訪問看護教育ステーション事業
- 12・13 熱中症予防×コロナ感染防止 熱中症を防ぐために屋外ではマスクをはずしましょう
- 14・15 ナースセンター通信
- 16 日本看護協会長表彰・かんごちゃん紹介・ペット自慢・お知らせ・編集後記

生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 栃木県看護協会

会員数 11,848人 (R5.7.31現在)

2023年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会



6月17日(土)とちぎ健康の森 講堂において、令和5年度公益社団法人栃木県看護協会通常総会が開催されました。会員数11,691名中、理事役員18名、本人出席226名、委任状9,435名、合計9,661名で通常総会は成立しました。議長団の円滑な議事進行により提出議題は全て可決・承認されました。議事終了後、新役員の紹介・旧役員への花束贈呈と謝辞が行われ閉会となりました。

午前中には、各職能集会及び講演会が開催されました。保健師職能・助産師職能は合同で上都賀総合病院 医師 高山剛氏による「妊娠、産褥期でメンタルに問題を持つ人への支援～多職種との協働～」が行われ74名が参加しました。

看護師職能では、公益社団法人日本看護協会 常任理事 木澤晃代氏による「看護師の特定行為研修の現状と展望」が行われ132名が参加しました。



令和5年度 理事会



令和5年度 新役員紹介

役員としての抱負



理事
小山市役所
福原 円

誰もが自らの生き方を選択でき、いきいき暮らせる地域を創るため、看護職の質の向上と連携強化に努めます。



理事
栃木県立
衛生福祉大学校
金子 敬子

新理事として、皆様のお力をお借りしながら、責務を果たせるよう努めて参ります。



理事
新小山市市民病院
青木千江美

新任理事(地区支部長)として、地域の皆様と一緒に考え一緒に行動し、看護の質の向上に努めて参ります。



理事
真岡病院
黒古 敬子

未熟ではありますが、准看護師代表として、会員の皆様のご期待に応えられるよう精一杯努力していきたくと思います。



第33回「看護の日」記念行事

5月20日(土)とちぎ健康の森多目的フロアにおいて、「いのちをまもるプロとして」をテーマに第33回「看護の日」記念行事が開催され、72名の中・高校生の参加がありました。また、今年度は栃木県看護協会のラッピングバスを無料運行し、48名の利用がありました。

高校生による「ふれあい看護体験」の発表、大学や専門学校による「看護学校進路相談会」の他、「看護体験」コーナーでは妊婦体験、片麻痺体験、高齢者疑似体験、白衣体験、車椅子操作体験など盛況に終わりました。

次世代を担う学生に保健師・助産師・看護師の仕事に興味を持ってもらい、人に関心を向けて社会貢献できる社会人となってもらえたら嬉しいです。



第37回栃木県看護大会知事表彰受賞者 (所属施設は令和5年3月31日現在)

私の信念



獨協医科大学
看護学研究科

金子 昌子

看護と教育に携わった43年間、私を支えたのは、「命を=人を尊ぶ」看護と言う職業への誇りである。



秋元ますえ

看護を提供する時は、どんな時でも安全に行い、手技も仕上がりも美しくなるように実践及び指導をしてきました。



訪問看護ステーション
たんぼぼ

鮎澤みどり

感動と感謝と笑顔を忘れない。よく働き学び向上し、そして自分自身も楽しむ。



栃木県立
がんセンター

増淵 美樹

何事にも感謝の気持ちと内省をし、笑顔を絶やさず、常に平常心を心がけることを大事にしています。



自治医科大学
附属病院

大海 佳子

自分に与えられた役割・課題を真摯に受け止め、周りの力を借りて前進する。皆様の支えあつての今日の私、感謝。



第37回栃木県看護大会大会長表彰受賞者 (所属施設は令和5年3月31日現在)

私の信念



宇都宮市
子ども発達センター
大友 昌子

「何事も誠実に対応する」ことです。この思いが、公私ともに、たくさんの人とつないでくれたと思います。



宇都宮市役所
大牧真理子

いつも誰かに支えられ成長できたことに感謝の気持ちを忘れず、今後も出会いと笑顔大切にしていきたい。



済生会
宇都宮病院
落合 新二

看護を実践する上での主語は「患者」です。常に「患者ファースト」を心かけた対応をするよう意識しています。



地方独立行政法人
栃木県立がんセンター
檜山 孝子

周囲の方々への感謝の気持ちを持ち、前向きであること、そして自身の心身の健康を大切にすることです。



栃木県立
衛生福祉大学校
金子 敬子

経験は財産。どんな経験も自分自身の成長につながると信じて、物事に取り組むよう心掛けています。



上都賀総合病院
近澤 珠聖

自己管理に励む糖尿病患者の姿が原動力である。患者を支え、患者に寄り添った看護支援が目標です。



老人保健施設
かみつが
齋藤 美樹

まずは自分が今を楽しむこと！そして利用者様が自分らしく暮らして頂けるような支援を心がけています。



栃木県保健福祉部
国保医療課
富田 倫子

自分も他人も大切にできることが看護職を長続きする秘訣だと思います。これからも大切に続けます。



真岡病院
宇塚真紀子

笑顔と思いやりの気持ちを忘れず、自分が出来る事は一生懸命がんばりたいと思っています。



獨協医科大学病院
手塚 純子

「我が道を行く」しかしながら、人は一人では生きていけません。助けてくれた周りのみなさんに感謝です。



獨協医科大学病院
洪生田 薫

相手の立場に立ち思いやることを大切にしたい。今、自分にできることを考え、行動していきたいと思います。



とちぎメディカル
センターしもつが
早乙女 守子

患者さんやご家族の尊厳が守られるよう、自分のおかれた立場で支援していきたいと考えています。



自治医科大学
附属病院
大貫 紀子

毎日いろいろあって、喜んだり怒ったり悲しくなったり辛くなったりするけれど、そんな毎日を楽しむこと。



自治医科大学
附属病院
加藤貴美子

多くの方に支えられ現在の自分がいます。人として看護師として安心感を与えられる存在でありたいです。



自治医科大学
附属病院
下田 典子

「一人ひとりが大切な存在」患児や患者さん、職場の仲間、一人ひとりを大切にしたいと心がけています。



自治医科大学
附属病院
高久 美子

ともに看護職を担ってきた皆様のおかげで、今の自分があると感謝しています。人との繋がりを大切にします。



那須赤十字病院
狩野 満里

「1日1日を大切に」いつも支えてくださっている皆様、感謝しかありません。ありがとうございます。



佐野厚生総合病院
吉田登美恵

「一期一会」患者様、共に働く人達と出会いの縁と、多くの人に支えられていることに感謝の気持ちを持って！



足利赤十字病院
中山 千穂

常に笑顔を忘れず、人と接すること。人とのつながりを大切にし、前向きに進んでいきたいと思っています。



まざあーずへいぶん
佐藤助産院
佐藤美佐子

産後ケアを中心に、地域の中で、赤ちゃんと母親、家族の為に寄り添って、活動して行きたいと思っています。



第37回栃木県看護大会感謝状受賞者 (所属施設は令和5年3月31日現在)

私の信念



宇都宮市役所

杉山佐千子

多くの方々に支えられている今、「感謝」の心を忘れず、心和やかに、笑顔でありたいと思っています。



栃木県立がんセンター

上野 知子

乳がん看護認定看護師として患者さんやご家族に寄り添い、がんと共存していくうえで支えとなる存在になる。



上都賀総合病院

阿部 稔

私は、常に当事者性を大切にしています。援助を受ける人がもし自分であったらと考え、対応しています。



真岡病院

芳志戸裕美

周りの人々への感謝の気持ちを忘れずに、思いやりの心を持って看護することを心掛けています。



真岡病院

小川詠美子

貴重な出会いと心に残る言葉に感謝をし、揺ぎない心と全ての人へ寄り添う気持ちを持ち続けたいと思います。



真岡病院

大関 初江

多くの方々の支えにより、これまで続けられたと感謝しています。思いやりの心を忘れず精進してまいります。



芳賀赤十字病院

田代 厚子

日々、穏やかに過ごしていきたい。そのためにはある程度の健康・お金・趣味を持てるようにしていきたいです。



栃木市役所

毛塚 裕子

様々な人との出会いを大切に、地域住民の暮らしに寄り添いながら、あったかハートで健康づくりを目指します。



とちぎメディカルセンターしもつが

石川 恵子

言葉はとても便利だけど、同じような意味もあって曖昧です。雑に使わずに丁寧に使っていきたいです。



とちぎメディカルセンター介護老人保健施設とちぎの郷

荒川 順子

利用者・家族に対して誠心誠意努めていくことです。これまで出会い支えてくれた皆様に感謝しております。



国際医療福祉大学塩谷病院

松本恵美子

様々な方に支えられ、ここまで続けられました。誠実に、笑顔とユーモアを大切にしています。



那須赤十字病院

飯村 中二

なんとかなるさ。自分に言い聞かせ、心をリラックスさせています。プラス思考で自分に勇気を与えています。



足利赤十字病院

北間 幸恵

私は、物事は最後までやりとげる、努力はおしまないを信念としています。



佐野厚生総合病院

加持由美子

みんなで協働して看護を行うには、謙虚な気持ちと真摯な姿勢で物事に向きあう事が大切だと思っています。



佐野厚生総合病院

宮崎 好美

人との出会いを大切に、患者や家族の想いを傾聴し寄り添い、その人らしさを尊重した看護を心掛けています。



令和5年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿

令和5年6月17日現在

役員名

役職名	氏名	施設名
会長	朝野春美	公益社団法人栃木県看護協会
副会長	山口久美子	獨協医科大学看護学部
副会長	福原円	小山市役所
専務理事	五月女祐子	公益社団法人栃木県看護協会
常任理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
保健師職能理事	金子敬子	栃木県立衛生福祉大学校
助産師職能理事	田中純	自治医科大学附属病院
看護師職能理事	小倉佳子	獨協医科大学日光医療センター
理事	杉本友子	那須中央病院
〃	勅使河原由江	足利赤十字病院
〃	福田裕美子	とちぎメディカルセンターしもつが
〃	三橋明美	芳賀赤十字病院
〃	片寄典子	栃木医療センター附属看護学校
〃	井上文子	那須赤十字病院
〃	酒巻佐和子	宇都宮中央病院
〃	向田千津	佐野厚生総合病院
〃	井上和子	日光市民病院
〃	小林阿由美	済生会宇都宮病院
〃	青木千江美	新小山市市民病院
〃	黒古敬子	真岡病院
監事	大海佳子	自治医科大学附属病院
〃	佐々木隆	税理士法人アミック&パートナーズひまわり事務所

役職名	氏名	施設名		
助産師職能委員会	委員長	田中純	自治医科大学附属病院	
	委員	氏家由美子	国際医療福祉大学病院	
	委員	松田直美	新小山市市民病院	
	委員	渡邊悦子	那須赤十字病院	
	委員	南雲佐苗	芳賀赤十字病院	
	委員	増渕香代子	獨協医科大学病院	
	委員	松本祥子	済生会宇都宮病院	
	委員	田中和代	佐野厚生総合病院	
	看護師職能委員会	委員長	小倉佳子	獨協医科大学日光医療センター
		委員	直井好子	老人保健施設わたのみ荘
委員		濱本明代	公益社団法人栃木県看護協会	
委員		黒崎雅子	訪問看護ステーション星が丘	
委員		関口千恵	御殿山病院	
委員		石崎礼子	芳賀赤十字病院	
委員		三田典子	足利赤十字病院	
委員		藤田みかる	とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ	
委員		石野浩史	介護老人保健施設にしかた	
委員		岡本順子	済生会宇都宮病院	
社会経済福祉委員会	委員	小畑美加子	自治医科大学附属病院	
	委員	浦田朋美	栃木県立がんセンター	
	委員	小森富美子	獨協医科大学病院	
	委員	高松明美	国際医療福祉大学病院塩谷病院	
	教育委員会	担当理事	杉本友子	那須中央病院
		委員長	鈴木由香	とちぎメディカルセンター総合保健医療支援センター
		委員	乾寛美	獨協医科大学日光医療センター
		委員	田代典子	烏山健康福祉センター
		委員	阿武隈川寛子	済生会宇都宮病院
		委員	岸田さな江	獨協医科大学病院
委員		古澤由紀	足利赤十字病院	
担当理事		渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会	
委員長		高岩和枝	とちぎメディカルセンターしもつが	
委員		飯野佳美	獨協医科大学病院	
保健師職能委員会	委員	須永恭子	獨協医科大学病院	
	委員	廣瀬由美	自治医科大学附属病院	
	委員	高橋知怜	国際医療福祉大学病院	
	委員	手塚理伊子	済生会宇都宮病院	
	委員	碓井真理子	小山市役所	
	委員	落合淳子	西方病院	
	委員	玉村尚子	獨協医科大学看護学部	
	委員	落合香織	新小山市市民病院	
	委員	塙晶子	上都賀総合病院	
	委員	福田恭子	獨協医科大学日光医療センター	
委員	黒岩幹枝	県南健康福祉センター		

推薦委員会名

役職名	氏名	施設名
委員長	小山喜代美	獨協医科大学埼玉医療センター
委員	落合有美	壬生町役場
委員	八木沢幸恵	国際医療福祉大学病院
委員	加藤貴美子	自治医科大学附属病院
委員	高川真紀	済生会宇都宮病院
委員	板橋ナオミ	佐野厚生総合病院
委員	鈴木悦子	県北健康福祉センター

常任委員会名

役職名	氏名	施設名		
社会経済福祉委員会	担当理事	杉本友子	那須中央病院	
	委員長	鈴木由香	とちぎメディカルセンター総合保健医療支援センター	
	委員	乾寛美	獨協医科大学日光医療センター	
	委員	田代典子	烏山健康福祉センター	
	委員	阿武隈川寛子	済生会宇都宮病院	
	委員	岸田さな江	獨協医科大学病院	
	委員	古澤由紀	足利赤十字病院	
	教育委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
		委員長	高岩和枝	とちぎメディカルセンターしもつが
		委員	飯野佳美	獨協医科大学病院
委員		須永恭子	獨協医科大学病院	
委員		廣瀬由美	自治医科大学附属病院	
委員		高橋知怜	国際医療福祉大学病院	
委員		手塚理伊子	済生会宇都宮病院	
委員		碓井真理子	小山市役所	
委員		落合淳子	西方病院	
委員		玉村尚子	獨協医科大学看護学部	
保健師職能委員会	委員	落合香織	新小山市市民病院	
	委員	塙晶子	上都賀総合病院	
	委員	福田恭子	獨協医科大学日光医療センター	
	委員	黒岩幹枝	県南健康福祉センター	

地区支部長名

地区名	氏名	施設名
宇都宮	小林阿由美	済生会宇都宮病院
県西	井上和子	日光市民病院
県東	三橋明美	芳賀赤十字病院
栃木	福田裕美子	とちぎメディカルセンターしもつが
小山	青木千江美	新小山市市民病院
県北	井上文子	那須赤十字病院
安足	勅使河原由江	足利赤十字病院

職能委員会名

役職名	氏名	施設名	
保健師職能委員会	委員長	金子敬子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員	高橋由紀子	栃木産業保健総合支援センター
	委員	戸村美佳	日光市役所
	委員	小倉優子	足利市役所
	委員	加藤早央里	上三川町役場
	委員	齋藤雅美	県北健康福祉センター
	委員	福島幸恵	栃木県精神保健福祉センター
	委員	新井香織	矢板健康福祉センター
	委員	深谷明子	宇都宮市役所
委員	若林知美	安足健康福祉センター	



	役職名	氏名	施設名
広報委員会	担当理事	山口久美子	獨協医科大学看護学部
	委員長	橋口ユミ	済生会宇都宮病院
	委員	八木澤千晶	今市病院
	委員	門沢里栄子	県南児童相談所
	委員	高橋真弓	獨協医科大学日光医療センター
	委員	中田律子	新小山市民病院
	委員	長谷部明子	芳賀赤十字病院
	委員	渡辺義隆	栃木県立岡本台病院
災害看護委員会	担当理事	向田千津	佐野厚生総合病院
	委員長	直井みつえ	済生会宇都宮病院
	委員	池田起江	芳賀赤十字病院
	委員	寺崎順子	獨協医科大学病院
	委員	飯田久子	自治医科大学附属病院
	委員	佐藤麻由美	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
	委員	舟木純子	足利赤十字病院
	委員	狩野満里	那須赤十字病院
医療安全対策推進委員会	担当理事	酒巻佐和子	宇都宮中央病院
	委員長	岡野真弓	上都賀総合病院
	委員	宮原秋	栃木県立がんセンター
	委員	永山真弓	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院
	委員	金澤聖子	済生会宇都宮病院
	委員	前原恵	足利赤十字病院
委員	高久美子	自治医科大学附属病院	

特別委員会名

	役職名	氏名	施設名
認定看護管理者教育委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	福田順子	自治医科大学附属病院
	委員	石田龍子	とちぎメディカルセンターとちのき
	委員	塚本友栄	自治医科大学看護学部
	委員	平澤靖子	済生会宇都宮病院
	委員	渡邊信代	那須赤十字病院
	委員	戸崎幸子	獨協医科大学病院
	専任教員	大竹信子	自宅
	専任教員	野本伊江子	公益社団法人栃木県看護協会
	訪問看護教育委員会	担当理事	渡邊芳江
委員長		小堀千絵	西那須野マロニエ訪問看護ステーション
委員		田崎綾乃	うつのみや訪問看護リハビリステーションにこっと
委員		荒井真紀	とちぎ訪問看護ステーションみぶ
委員		浅野有美子	獨協医科大学病院
委員		葉原洋子	小山市役所
委員		柴りか	LC訪問看護リハビリテーション
委員		三柴友美	栃木県保健福祉部健康増進課難病対策担当

	役職名	氏名	施設名
実習指導者講習会委員会	担当理事	片寄典子	栃木医療センター附属看護学校
	委員長	印南裕子	国際医療福祉大学塩谷病院
	委員	仁平英恵	芳賀赤十字病院
	委員	芳賀篤子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員	大澤弘子	自治医科大学附属病院
	委員	豊田早苗	獨協医科大学病院
	委員長	福原円	小山市役所
	委員	朝野春美	公益社団法人栃木県看護協会
	委員	山口久美子	獨協医科大学看護学部
	委員	五月女祐子	公益社団法人栃木県看護協会
看護大会準備委員会	委員	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員	金子敬子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員	田中純	自治医科大学附属病院
	委員	小倉佳子	獨協医科大学日光医療センター
	委員	鈴木太	氏家病院
	委員	浅川まり子	自宅
	委員	金子美和	今市病院
	委員	白石大	栃木県立岡本台病院
	委員	吉澤由美子	佐野市民病院
	委員	長谷川貞夫	栃木県立衛生福祉大学校
新人看護職員応援研修委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	安西典子	自治医科大学附属病院
	委員	前澤信子	芳賀赤十字病院
	委員	高橋りか	藤井脳神経外科病院
	委員	落合紀代美	とちぎメディカルセンターしもつが
	委員	佐藤由貴	菅間記念病院
	委員	館野雅子	佐野厚生総合病院
栃木県看護学会企画委員会 （栃木県看護学会準備委員会）	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	山口久美子	獨協医科大学看護学部
	委員	村上礼子	自治医科大学看護学部
	委員	森川純子	獨協医科大学SDセンター
	委員	反保広美	済生会宇都宮病院
	委員	發田茂美	国際看護介護保育専門学校
	委員	大貫紀子	自治医科大学附属病院
	委員長	井戸沼由美子	那須赤十字病院
	委員	境敏一	報徳看護専門学校
	委員	藤嶋淳子	済生会宇都宮病院
	委員	松浦弘子	とちぎメディカルセンターとちのき
	委員	山崎猛	上都賀総合病院
委員	田熊明子	新小山市民病院	
委員	山口英子	足利赤十字病院	

特集 今年の各委員会事業計画

職能委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師職能委員長 金子 敬子



保健師職能委員会活動計画（2023年度）

保健師職能委員会では、昨年度に引き続き令和5年度も「今、求められる保健師の役割は何か」を考えながら活動を推進して行きます。

主な事業としては、保健指導のスキルアップのための保健指導ミーティングを実施する予定です。本研修は11年目を迎えますが、事業の評価結果を踏まえて、より効果的な研修会となるよう企画して行きたいと思えます。気軽に参加でき、参加者同士の交流の場にもなっている研修会ですので、多くの方の御参加をお待ちしています。

また、保健師に関する様々な情報をニュースレターにより発信するなど、職域を超えた保健師の相互理解や連携強化のための取組を継続して行きます。

コロナ禍の経験を踏まえ、改めて保健師活動や現任教育などについて皆様と共に考えて行きたいと思えます。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 田中 純



助産師の活躍推進にむけて

日本看護協会では、助産師の活躍推進策の検討として、女性とその家族への支援を活動展開するためには体制の整備と情報収集が課題とあげています。そこで、助産師職能委員会では、県内で行われている健康支援の取り組みについて、関連団体・自治体と連携をとりながら意見集約していきます。引き続き、「母子のための地域包括ケア病棟」の運営の推進として、院内助産・助産師外来・産後ケアなどの実践報告もおこない、意見交換をしていきます。

助産師相互研修・産科従事者交流集会では、新人助産師も含め周産期に関わる職場で仕事をされている助産師・保健師・看護師の方が交流を深められるように「乳房ケア、母乳育児支援」、「アロマを用いたハンドケア」や、看護実践力を高められるような内容を企画しています。多くの方の参加をお待ちしております。

また、看護協会のホームページに助産師だより「ミッドワイフトーク」「助産師のつぶやき」「このとりネットワーク」を掲載しておりますのでそちらも是非ご覧ください。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 小倉 佳子



看護職の活動領域が拡大する中での働き方を考える

看護師職能委員会では、今年度の日本看護協会の方針にある、病院における多様で柔軟な働き方に関する情報収集を行います。また、社会における看護師の役割発揮のための研修を病院領域、在宅領域ごとに企画します。看護師職能Ⅰ病院領域では特定行為看護師の活動や管理についての情報提供や課題についてお話いただきグループワークによる情報共有を企画します。看護師職能Ⅱ在宅領域では看護管理者の課題である施設における多職種連携に関する情報提供及びディスカッションによる課題抽出を行います。そして、領域ⅠとⅡ合同では、地域完結型医療を目指す地域包括ケアシステムについての内容を予定しています。

研修会や講演会を情報収集・ディスカッションの場としてご活用いただきたいと思います。

常任委員会活動計画

社会経済福祉委員会

社会経済福祉委員長 鈴木 由香



看護職がいきいきと働き続けるために

社会経済福祉委員会では、看護職の労働条件、社会保障、報酬、教育制度、キャリア開発等の充実・向上と看護協会会員拡大を目的に活動しています。毎年2つの研修を企画しています。1つ目は、「魅力ある職場づくりを！～いきいきと働き続けるために～」として看護職がいきいき働き続けるため、働く個人と組織が共に成長し合える状態を創りあげるベストマッチな関係づくりについて考えることを目的にした研修です。2つ目は、「就業継続看護職の働き方の提案」では、個人の多様性を認め合い、看護職個人の持続可能な働き方の実現を推進するため、就業継続が可能な労働環境作りを目的とした研修を計画しています。

2024年4月から医師の働き方改革が施行されます。私たち看護職も、自分たちの明るい未来へ向け、いきいきと働き続けるために、一緒に考えていきましょう。研修の参加をお待ちしております。

教育委員会

教育委員長 高岩 和恵



看護職が専門職として成長できるよう支援する

教育委員会は、保健・医療・福祉におけるニーズの多様化、複雑化に対応し、質の高い看護の提供ができる看護職の育成を目標に掲げています。あらゆる施設で働く看護職がJNA ラダーの指標と自身の看護実践習熟段階を対比させ「学びたい研修」や「必要な研修」が選択できるよう研修内容に【最も関連がある看護実践能力】を付加しています。また、社会の変化やニーズに対応できるよう毎年研修企画をブラッシュアップしています。

今年5月に新型コロナウイルス感染症は2類から5類に引き下げられました。しかし研修開催に関しては大きな変更はせずに標準予防策を講じて参ります。引き続き「Zoom 研修」や「サテライト会場」を選択できますのでご安心ください。皆様のご要望に応えられるよう研修企画・運営を行なって参ります。是非ご意見をお寄せください。

広報委員会

広報委員長 橋口 ユミ



読者の目線で読みやすい広報誌を目指して

広報委員会では、機関誌「看護とちぎ」を年4回発行しています。発行に伴い、企画・校正・取材・編集を行っており、看護大会や通常総会の様子や研修受講者の感想などを記載しています。今年度も会員や地域住民に向け、栃木県看護協会の活動状況や健康の維持・増進に関する情報を発信していきたいと思えます。昨年度からは、「わたしの〇〇自慢」と題し、読者からの投稿を募集し掲載するようになりました。皆様に興味を持っていただけるよう、読者の目線に立ち、読みやすい広報誌を目指して参ります。

新型コロナウイルス感染症も5類となり、総会や研修会などが元の状態に戻ってきています。同時に、新しい形式での開催も定着しつつあります。引き続き、旬な情報を発信していきたいと思えます。執筆依頼時は、是非ご協力をお願いいたします。

災害看護委員会

災害看護委員長 直井 みつえ



自然災害・感染症支援に向けた新たな「災害支援ナース養成研修」が始まります

これまで、災害支援ナースの派遣は、自然災害のみを対象として行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に対する看護協会の応援派遣の実績を踏まえ、2022年12月に感染症法が改正され、派遣調整の仕組みが法制化されました。これにより、自然災害に加え感染症の支援における国としての看護職の派遣、養成・登録等の体制が整備されました。今後は、新カリキュラムとなる養成研修を受講し、修了者を災害支援ナースとして国が登録・リスト化していきます。災害看護委員会では、応援派遣に対応できる看護職の育成に向け新たな養成研修を2024年1月に開催する予定です。研修は、オンデマンドと集合研修で構成され、既に支援ナースとして登録している方はオンデマンド研修の一部が受講免除となります。ぜひ、多くの方に「災害支援ナース養成研修」を受講していただき、災害時や感染症発生時に適切に支援が行えるようご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

医療安全対策推進委員会

医療安全対策推進委員長 岡野 真弓



医療安全の質向上を目指して

医療安全対策推進委員会は、各施設における医療安全活動の普及や医療安全管理者の活動を支援することを目的とした委員会です。今年度は、「患者・家族・職員からの暴言・暴力・ハラスメント対応」、「ヒューマンエラー事例分析」、「医療安全と臨床倫理、対話推進～もうそのままにしない！臨床のモヤモヤ」「医療安全推進キャンペーン～医療事故の経験 その語りから学ぶ～」をテーマとした研修を企画しています。ぜひ研修に参加して、医療安全に関する情報・活動・問題等の共有や意見交換の場としていただければと思います。また、「医療安全と臨床倫理、対話推進～もうそのままにしない！臨床のモヤモヤ」「医療安全推進キャンペーン～医療事故の経験 その語りから学ぶ～」では、多職種の方も参加できる研修となっております。興味のある多職種の方もお誘いいただきご参加ください。今後も多職種を交えた県内の医療安全管理の輪が繋がっていけるよう、医療安全の学びの場となる研修を企画していきたいと思えます。

優良看護職員厚生労働大臣表彰 おめでとうございます!

渡邊カヨ子様 宮本 律子様

令和5年6月7日(水)、公益社団法人日本看護協会通常総会において、標記表彰式が行われ、栃木県から、渡邊カヨ子様、宮本律子様のお二人が受章されました。誠におめでとうございます。

この表彰は、多年にわたり看護業務に献身し顕著な功績のあった方に、厚生労働大臣が表彰を行い、その労苦に報いるとことによりその活動の一層の助長を図り、もって我が国における保健衛生の向上発展に資することを目的に行われるものです。

お二人のこれまでの功績に敬意を表し、今後ますますのご活躍を心より祈念いたしております。



渡邊カヨ子様と宮本律子様が協会にご報告に来てくださいました。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会 感謝状が贈呈されました

令和5年3月22日(水)に栃木県総合文化センターメインホールにおいて、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会実行委員会による感謝状の贈呈式が開催されました。当協会からは、渡邊芳江常任理事が代表して参加し、福田富一栃木県知事から感謝状が贈呈されました。

この感謝状は、両大会の準備・開催にあたり、顕著な貢献のあった個人、企業・団体を対象に贈呈されるものであり、当協会においては、大会開催中の医療救護業務に貢献したことを高く評価されました。

両大会の救護にあたっては、県内、多くの医療機関や県、市町などの行政機関から、延べ500名を超える看護職の方にご協力をいただきました。特に、開催期間中は新型コロナウイルス感染症が拡大し、医療機関、行政機関においてはその対応に追われる中、看護職の派遣にあたっては多くのご苦労があったと思います。ご協力いただいたご施設・看護職の皆様改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



福田富一栃木県知事から感謝状を受け取る渡邊芳江常任理事

令和5年度栃木県訪問看護教育ステーション事業 (R5.6/1~R6.3/16)

両毛地区 とちぎ訪問看護ステーションあしかが

主な内容

- ① 訪問看護ステーション体験・研修 (随時受付)
- ② 相談事業 (月・火・水・金/9:30~12:30) (随時受付)
- ③ 訪問看護に関する勉強会の開催 (お問合せ下さい)
- ④ 地域の訪問看護ステーション連携会議の開催 (対象：両毛地区訪問看護ステーション管理者)

<お問合せ先>

とちぎ訪問看護ステーションあしかが

☎0284-22-7366 担当 宇佐見

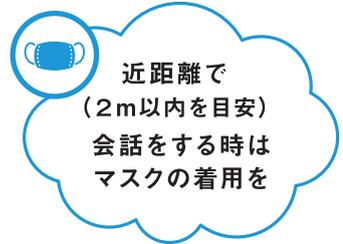


熱中症予防 × コロナ感染防止

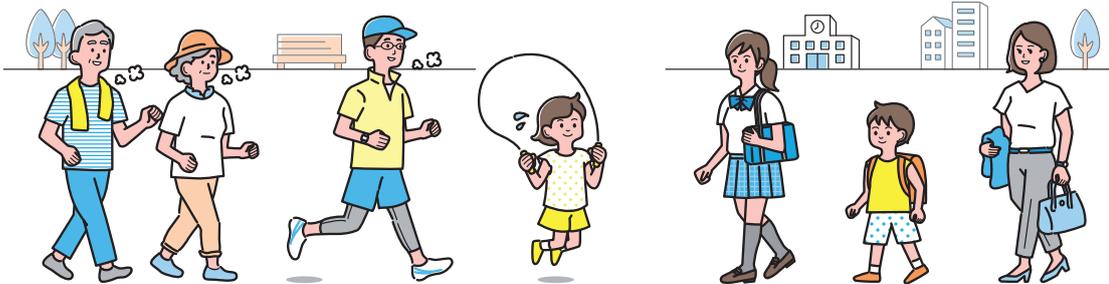
熱中症を防ぐために 屋外ではマスクをはずしましょう

屋外ではマスク着用により、熱中症のリスクが高まります

特に運動時には、忘れずにマスクをはずしましょう



屋外での散歩やランニング、通勤、通学等も
マスクの着用は必要ありません



- ・人の距離 (2m以上を目安) が確保できて、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。
- ・マスクを着用する場合でも、屋内で熱中症のリスクが高い場合には、エアコンや扇風機、換気により、温度や湿度を調整して暑さを避け、こまめに水分補給をしましょう。



熱中症に関する
詳しい情報
(環境省HP)



新型コロナウイルス
感染症に関する情報
(厚生労働省HP)

感染症対策におけるマスクの着用について



(一般用)



(子ども用)



暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ

のどが潤いていなくても こまめに水分補給をしましょう

- ・1日あたり **1.2L(1.2リットル)**を目安に
- ・コップ約6杯
- ・1時間ごとにコップ1杯
- ・入浴前後や起床後もまず水分補給を
- ・大量に汗をかいた時は**塩分**も忘れずに

エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

注意 一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど**2か所**を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する
- ・換気後は、エアコンの温度をこまめに再設定

暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で**適度に運動**(「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で**毎日30分程度**)
- ・水分補給は忘れずに!
- ・毎朝など、**定時の体温測定と健康チェック**
- ・体調が悪い時は、無理せず**自宅で静養**

知っておきたい 熱中症に関する大切なこと

**熱中症警戒アラート発表時は
熱中症予防行動の徹底を!**

運動は原則中止。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。

■年齢別／熱中症死亡者の割合

15歳～44歳	1.8%	5歳～14歳	0.1%
45歳～64歳	11.8%	0歳～4歳	0.1%
65歳～79歳	37.0%	不詳	0.1%
80歳以上	49.1%		

出典：厚生労働省「人口動態統計(2020年)」

熱中症による死亡者の約9割が高齢者

約半数が80歳以上ですが、若い世代も注意が必要です。

■年齢・発生場所別／熱中症患者の発生割合

65歳以上	自宅	道路・駐車場
19～64歳	作業中	
7～18歳	学校	運動中
0～6歳	公衆出入場所	その他・不詳

出典：国立環境研究所「熱中症患者者速報(2015年)」を基に作成

高齢者の熱中症は半数以上が自宅で発生

高齢者は自宅を涼しく、若い世代は作業中、運動中に注意が必要です。

高齢者、子ども、障がいをお持ちの方は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。
周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。



ナースセン

令和5(2023)年度 復職を考えている方、技術に不安がある方など、そんなあなたを応援します！

看護職員再就業支援研修

対象

- キャリアチェンジを見据えた再就業を希望するプラチナナース (定年退職前後の看護職等)
- 再就業を希望する未就業看護職
- 再学習を希望する就業中看護職

※申込者多数の場合は、再就業を希望する方を優先

内容

病院・診療所/介護系施設 編	
急変時の看護	介護施設における看護職の役割(動画配信あり)
感染対策の基礎知識(動画配信あり)	摂食・嚥下の基礎知識
褥瘡予防	認知症看護
看護記録	口腔ケアと安全な吸引(演習あり)
薬物療法・採血(演習あり)	職場における人間関係構築とコミュニケーションスキル

※詳細はこちら>>>



在宅看護 編

(訪問看護師養成講習会の一部聴講)

訪問看護過程の展開

訪問看護に活かすリハビリテーション看護技術

同日開催!

セカンドキャリアセミナー「私らしく働こう」

- 看護職としての多様な働き方
- 事例紹介「活躍するプラチナナース」
- 栃木県ナースセンターにおけるセカンドキャリア支援等

人生100年時代、あなたが輝く働き方の選択のために！

令和5(2023)年度

セカンドキャリアセミナー

対象

● 個人向けセミナー

- プラチナナース(定年退職前後の看護職等)
- セカンドキャリアを考えたい看護職
- 再就業を希望する未就業看護職

● 施設向けセミナー

プラチナナースに期待する施設(看護管理者、人事・採用担当者等)

セカンドキャリアセミナーとは??

- 人生100年時代、将来のために自分の働き方やこれから見つめてみませんか。
 - 意欲・能力のあるプラチナナースに「選ばれる」職場づくりに向けにお話を聞いてみませんか。
- 看護職の皆さんのキャリア継続を応援するセミナーです。

プラチナナースとは、

定年退職前後の就業している看護職員で、自分のこれまでの経験をふまえ、持っている能力を発揮し、いきいきと、輝き続けている看護職員の呼称です。

※日程及び会場等の詳細はこちら >>>



個人向けセミナー：これからも自分らしく輝くために

個人向けセミナーⅠ

～充実したセカンドライフを過ごす～

【日程】 8月31日(木)、10月31日(火)、1月11日(木)

【時間】 9:30～13:00(受付 9:00～)

- 公的年金のしくみ～60歳以降も年金をかけるメリット～
- 看護職としてのセカンドキャリアを考えよう!～自己理解とキャリアプラン～

個人向けセミナーⅡ

～私らしく働こう!～

【日程】 9月13日(水)、12月7日(木)

【時間】 13:00～15:00(受付 12:30～)

- 看護職としての多様な働き方
- 事例紹介 活躍するプラチナナース
- 栃木県ナースセンターにおけるセカンドキャリア支援

施設向けセミナー：プラチナナースを職場の力に！

【日程】 集合研修：9月30日(土)
動画配信：1回目 11月1日(水)～11月7日(火)
2回目 2月1日(木)～2月7日(水)

【時間】 12:00～14:00(受付 11:30～)

- プラチナナースの雇用のポイント～働き続けられる職場づくり～
 - 事例紹介 プラチナナースを職場の力に!
 - 栃木県ナースセンターにおけるセカンドキャリア支援
- ※同日午後「就職相談会」開催(別途要申込)



受講料・参加料は
全て**無料**です!

看護職のための就職相談会

2023(令和5)年9月30日(土) 14:00~16:00開催

就職に必要な履歴書・職務経歴書の書き方や面接時の注意点のお話を聞いたり、求人施設の担当者から直接いろいろな相談をしたり説明が聞けたりします。就職のための参考になります。ご参加お待ちしております。

会 場 とちぎ健康の森 多目的フロア

対 象 求職者 30名程度

参加予定求人施設 20施設程度(200床以下の病院、診療所、介護施設等)

令和5(2023)年度

ハローワークにおける看護職の就職相談

予約優先

当日申込可

栃木県ナースセンターの看護職相談員による出張相談を行っています。
就職や**進学**、**仕事**の悩み等のご相談をお受けします。お気軽にご利用ください。

相談時間 13:30~15:30
※お一人30分程度になります。

「**看護職の就職相談**」は
雇用保険の求職活動実績になります。



会 場	相 談 日			申 込 先
ハローワーク宇都宮	8/23 (水) 11/15 (水)	9/20 (水) 12/20 (水)	10/18 (水) 2/21 (水)	ハローワーク宇都宮 TEL 028-638-0369
ハローワーク宇都宮駅前プラザ	1/16 (火)	3/19 (火)		栃木県ナースセンター TEL 028-625-3831
ハローワーク大田原	1/24 (水)	3/27 (水)		
ハローワーク小山	9/20 (水) 3/ 6 (水)	11/15 (水)	1/17 (水)	

詳細は栃木県看護協会ホームページをご覧ください。<https://www.t-kango.or.jp>

※栃木県ナースセンター事業は、栃木県委託事業です。

お問い合わせ先

公益社団法人栃木県看護協会 栃木県ナースセンター (受付: 平日 9時~16時)
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階
電話 **028-625-3831** または **6141**
H P <https://www.t-kango.or.jp/nurse1.html>





表彰おめでとうございます

日本看護協会会長表彰
日本看護協会会長表彰

穂高 律子様
村上 充子様

栃木県かんごちゃん

将来の看護職になる若年層に看護の魅力を伝えるメッセンジャーとして誕生した、かんごちゃんですが、47都道府県に、ご当地かんごちゃんも誕生しました。

栃木県は、栃の葉をモチーフとしています。



ペット自慢



ボール遊びと昼寝が大好きなフレンチブルドッグのむぎ3歳の女の子です。いつも朝早くサッカーディフェンダーとして頑張っています！将来はナデシコジャパン入団を目指して日々精進しています。

施設名：S病院 ペンネーム：ぴよんきち

わたしの〇〇自慢大募集!!

手作りケーキ

料理・趣味・制服・職場・スキル
ペット(=^・^=)・その他

水槽

写真、コメント、施設名、ペンネームを添えて
栃木県看護協会に是非応募下さい。▶▶▶ info@t-kango.or.jp

なんでも OK!!

広報担当 委員交代

広報
委員長



橋口ユミ

新委員



渡辺 義隆

栃木県看護協会

入会のご案内・会員各種

手続きは **コチラ**➡



編集後記

暑さで食欲が低下したり、さっぱりとした食べ物が好まれますが、体調を崩さないためにもバランスの良い食事・十分な休息・適度な水分補給を心がけ、猛暑を乗り切りましょう!!